

院長あいさつ

## 良質な医療をめざして

院長 宮崎 徳藏



竹丘病院は、長期療養を必要とする患者様に対して医療保険サービスを提供する慢性療養型病院です。特に高齢者は、加齢に伴い心身の機能の衰えによる身体的・精神的な諸症状および疾患が多くみられるようになります。

平成18年8月から慢性期医療病床に対する診療報酬の改正が行われ、入院患者様に対して医療面だけでなく、日常生活動作面についても細かく評価していくことが義務づけられました。医療の必要度が特に高い疾患・病態は、スモン病、24時間持続点滴、酸素療法、感染隔離室におけるケアなど。次に医療の必要度が中等度の疾患は、パーキンソン病関連疾患などの神経難病、神経難病以外の難病、脊髄損傷、肺気腫、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、肺炎、尿路感染、褥瘡、うつ状態、気管切開などが含まれます。当院では医療の必要度が中等度以上の患者様が常に8割を超えている状態です。

そのような中で、長年の懸案でありました病院機能評価を受審するための準備を全職員で進めてきました。そのためのマニュアル類などの整備ならびに研修会などを行ってまいりました。

病院機能評価の訪問審査は、平成27年7月23日、24日の二日間にわたり行われましたが、特に医療安全の仕組みが確立していることが重要なことがよくわかりました。

病院として良質で安全な医療が行われているかについて細かくチェックされたことにより、今後改善に取り組まなければならない点がありました。十分に準備したと考えていましたが、実際にいろいろと指摘されたことを参考にし、良質な医療を提供するために病院全体の体制や方法、さらに教育研修を充実させることが重要であるとあらためて痛感した次第です。

今後ともより良質で安心できる病院を目指し努力していく考えでありますので、宜しくご指導の程お願い申し上げます。